

令和8年羽曳野市議会第1回定例会

発言通告書(一般質問)

【令和8年3月9日(月) 予定】

1. 沼元 さえか 議員 (一問一答)

(1) 企業誘致促進について

- ① 第7次羽曳野市総合基本計画における産業誘導の戦略について
- ② 投資的基盤インフラとしての「地籍調査」について
- ③ 市独自のインセンティブと組織体制の強化について

(2) 災害時における妊産婦への支援体制について

- ① 妊産婦の避難に関する現状認識と課題は。
 - ア 本市の福祉避難所の定義について
 - イ 福祉避難所の受入体制について
 - ウ 近年の災害事例からの反映について

2. 清水 ひでただ 議員 (一問一答)

(1) 人口構造の質的分析と次世代投資について

- ① 直近3年間における20代から30代の子育て世代及びその子ども世代の純増数は。
- ② 市は現在の人口動態をどう捉え、令和8年度予算を通じてどのように市民に安心感を与えていく予定か。

(2) 学習アプリと連動した総合学習調査と、生徒・児童一人ひとりに合わせたカリキュラムによる個別学習について

- ① 学習アプリから得られる「学習履歴」の分析方法は。また、それをどのように一人ひとりのカリキュラムに反映させる予定か。

② 「個別学習」の導入によって、子どもの学習意欲や学力定着にどのような効果が期待されるのか。また、市としてのビジョンは。

(3) チーム担任制・教科担任制の拡充について

- ① 現在、導入されている「チーム担任制」及び「教科担任制」において、現場の教員からはどのようなフィードバックがあったのか。また、子どもたちの学習状況や生活面にどのような変化が見られたか。
- ② 少子化・学校規模適正化が全国的に進む中、この新たな体制を全市的に広めていくことで、羽曳野市の教育の「質」をどう定義し、他市にはない強みとして確立していく予定か。

3. 古澤 悟 議員 (一問一答)

(1) 市庁舎における大規模災害対策について

- ① 南海トラフ級地震が発生した場合、来庁者の安全確保及び避難誘導について
- ② 庁舎の消防計画に基づく避難誘導體制について
- ③ 庁舎のエレベーターの地震対策について

(2) 疾患由来の脱毛症に対する医療用ウィッグ購入費助成について

- ① 本市において、汎発型脱毛症や重度円形脱毛症など、疾患由来の脱毛症患者数の把握について
- ② 現在のがん患者向け医療用ウィッグ助成制度を、疾患由来の脱毛症にも対象拡大する考えは。

4. 南 玲 議員 (一問一答)

(1) 学校給食の充実について

- ① 新給食センターについて
- ② 給食費無償化について

- (2) 学童保育の充実について
 - ① 現状について
 - ② 夏休みの利用について
 - ③ 使用料の減免制度について

5. 麻野彰子議員（一問一答）

- (1) 女性の資格取得支援及び商工連携型就労マッチング制度の構築について
 - ① 本市における女性活躍支援施策の現状と課題について
 - ② 子育て中・ブランク女性を対象とした資格取得支援制度の構築について
 - ③ 国・府補助金を活用した制度設計について
 - ④ 商工連携型就労マッチング制度の構築について
- (2) 新庁舎整備における市民利用型テレワークスペースの整備について
 - ① 新庁舎整備計画における市民利用スペースの基本方針及び時間貸し可能な個人ワークブース等の施設整備の考えについて
 - ② 整備した場合の活用方針、対象者設定、民間連携による運営手法及び使用料の考え方について
- (3) リチウム電池等の適正分別及び回収体制強化について
 - ① 市独自回収ボックスの設置及び市民への周知啓発強化を含めた回収体制強化の考えについて
- (4) 令和8年4月1日施行の道路交通法改正（自転車反則金制度）への本市の対応について
 - ① 16歳以上を対象とした自転車の反則金制度導入に関する本市の対応方針及び若年層を含む市民への具体的な周知・啓発の取組状況について

6. 黒川実議員（一問一答）

- (1) ライフラインについて
 - ① 耐震化について
 - ② 緊急時における対応について
- (2) 保育園・認定こども園について
 - ① 令和8年度の入園希望者の状況について
- (3) 青少年スポーツ育成について
 - ① 登録されている団体は。
 - ② 本市の支援、取組について

【令和8年3月10日（火） 予定】

7. まりやま百合子議員（一問一答）

- (1) 自主防災組織活動補助金制度について
 - ① 適用範囲・申請方法について
 - ② これまでの申請状況と今後の展望について
- (2) 小中学校・義務教育学校の人員配置について
 - ① 特別支援教育、学習支援等、様々な分野で学校教育にかかわる職員の配置について
 - ② 今後の人員配置計画について
- (3) 共同養育について
 - ① 離婚後の共同養育と養育費に関する支援について
- (4) 健康はびきの21計画について
 - ① 睡眠の重要性と睡眠時無呼吸症候群の社会的影響について

8. 田中もとかず 議員（一問一答）

(1) 幼児教育と義務教育について

- ① 羽曳野市教育改革審議会の答申について
- ② 小学校校区の区割り制度について
- ③ 不登校児童の現状と課題について
- ④ 市立幼稚園の推移と幼児教育の重要性について
- ⑤ 児童のデジタル端末使用の検証について
- ⑥ AI（人工知能）の進化等に伴う社会変化に対応する教育について

(2) 新庁舎計画の現状について

- ① 計画の全体予算の変遷について
- ② 実施設計及び工事施工の公募型プロポーザル再公告の現状について

9. 阪倉禎明 議員（一問一答）

(1) 学校給食について

① 給食無償化の「継続性」について

ア 【完全無償化の恒久化】国の無償化方針を受け、市独自の財源を「中学校の完全無償化」へスライドし、所得制限なしで永続させる考えはあるか。

イ 【物価高騰への予備費】食材費が高騰する中、保護者負担を増やさず、かつ給食の質を落とさないための補正予算の準備はあるか。

② 「量」と「満足度」の確保について

ア 【成長期への増量対応】新センター稼働後、運動部の中学生などから「足りない」という声が出ないよう、現場での「おかわり分」を十分に確保しているか。給食が足りない生徒の食べ

物の持参については。

イ 【適温提供の徹底】配送ルートを最適化し、センター方式の弱点である「冷めたおかず」を回避し、温かい状態で届ける具体的な工夫は何か。

③ 「地産地消」と「食育」の推進

ア 【地元産品の活用目標】羽曳野特産の「いちじく」や地元野菜の活用率を、新センター稼働を機に何%まで引き上げる計画か。

イ 【新センターの食育機能】新センターの見学コース等を活用し、子どもたちが羽曳野の食文化を学ぶ「生きた教材」としてどう運用していくか。

(2) 部活動（クラブ）について

① 「地域移行」の進捗と指導者確保について

ア 【地域クラブへの移行状況】国の「休日部活動の地域移行」方針に基づき、本市の中学校における現在の移行状況と、令和8年度末までの具体的な完了スケジュールを伺いたい。

イ 【指導員確保の具体策】教員のなり手不足を補うため、専門知識を持つ地域住民や大学生を「部活動指導員」として確保するための報酬体系や、リクルート活動の現状はどうか。

ウ 【指導者バンクの運用】市独自の「指導者バンク」登録者数は充足しているか。また、競技経験者と学校現場を円滑にマッチングさせる専門コーディネーターの配置状況を問う。

② 生徒の「活動機会」と「家庭負担」の格差是正

ア 【活動継続の担保】顧問が確保できず廃部に追い込まれるケースを防ぐため、近隣校との「合同部活動」や「拠点校方式」をどのように広げていく計画か。

イ 【経済的負担への助成】地域クラブ移行に伴い、月謝や保険

料などの保護者負担が発生する場合、経済的理由で活動を断念する生徒が出ないように、市独自の補助制度を設ける考えはあるか。

③ 教員の「働き方改革」の実効性

ア 【顧問拒否権と兼職兼業】教員が「顧問を担わない」という選択を実質的に行える環境か。また、希望する教員が地域指導者として適正な対価を得て活動できる「兼職兼業」の承認ルールはどう整備されているか。

イ 【校務負担の軽減】外部指導員を導入した際、連絡調整や施設管理などの「事務作業」が教員の新たな負担になっていないか。事務負担を切り離すための仕組みを問う。

(3) 第4こども園について

① 朝夕の交通渋滞・安全対策について

ア 【送迎車両の滞留対策】登降園の時間帯、周辺道路の渋滞が近隣住民の生活に支障をきたす懸念がある。園敷地内への車両引き込みルート確保や、待機スペースの整備状況を伺いたい。

イ 【交通整理員の配置と安全確保】開園初期の混乱を未然に防ぐため、通学路の安全を確保する交通整理員やガードマンを市として継続的に配置する考えはあるか。

ウ 【近隣合意と対策の周知】渋滞予測に基づく具体的な対策案を、周辺住民へどのように説明し、理解を得ているか。

② 初の「民間委託」に伴う質と責任について

ア 【保育の質の維持・継承】本市初の民間委託にあたり、公立園が長年培ってきた「羽曳野の保育」の質を低下させないため、委託先への引き継ぎ体制と条件を問う。

イ 【市のモニタリングと監督責任】「丸投げ」に終わらせず、市が運営状況を常に把握するための定期監査やモニタリング及び

問題発生時の迅速な介入体制はどう整えられているか。

ウ 【委託による具体的なメリット】民間委託への切り替えにより、延長保育の拡充やICTの導入など、保護者にとって具体的にどのような利便性の向上が約束されているのか。

10. 阪本 菜津代 議員 (一問一答)

(1) 街の活性化について

① 地域資源の活用について

(2) 市街化調整区域について

① 提案基準26(産業の振興を図る必要がある地域における工場等の立地を目的とする開発行為の取扱い)について

(3) 都市基盤整備について

① 道路整備について

② 農業振興地域整備について

(4) 鳥獣被害について

① 支援策について

(5) 支え合う社会の実現について

① 多世代交流について

11. 石田 幸平 議員 (一問一答)

(1) 古市駅について

① 古市駅の現状・認識について

② 古市駅東口エレベーター設置について

(2) 公共施設について

① 市民会館の現状・認識について

② 古市駅近辺地域のコミュニティ活動拠点について

12. 樽 井 佳代子 議員 (一問一答)

(1) 新庁舎整備について

① 新庁舎整備の情報発信について

(2) 公共施設の今後の在り方について

① 市民会館について

(3) 教育環境の充実について

① 公立中学校制服の共通化について

② 教育研究所について